

資 料	水-2
作 成	水 道 局 総 務 部
提 出	令 和 6 年 1 月 12 日

次期札幌水道ビジョンの策定について

【資料水-2-1】次期札幌水道ビジョンの策定について

【資料水-2-2】次期札幌水道ビジョン 市民参加の取組について

札 幌 市 水 道 局

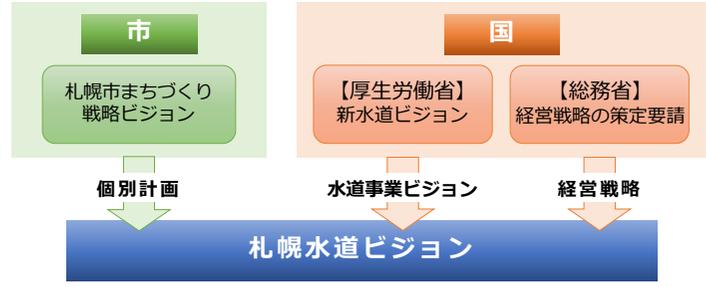


次期札幌水道ビジョンの策定について

● 札幌市水道局の中長期計画である「札幌水道ビジョン」について、現計画の計画期間が令和6(2024)年度までのため、令和7(2025)年度以降の次期計画の策定を進めています。

1 札幌水道ビジョンの位置付け

- 札幌水道ビジョンは、札幌市の水道事業における中長期計画であり、事業運営の方向性や計画期間に進めていく具体的な取組などを示すものである。
- 「札幌市まちづくり戦略ビジョン」の個別計画として位置付けているほか、国のビジョン等にも位置付けている。
 - ✓ 厚生労働省が「新水道ビジョン」で各水道事業体に策定を求めている「水道事業ビジョン」
 - ✓ 総務省が地方公営企業に策定を求めている「経営戦略」



2 現行札幌水道ビジョン (2015~2024) について

- <概要>
- 平成27(2015)年3月に策定。
 - 計画期間は平成27(2015)~令和6(2024)年度の10年間(計画の折り返しとなる令和元(2019)年度に、後半5年間の財政収支見通し等を公表した)。

<進捗状況>

ビジョンの取組については、目標達成に向けて概ね順調に推移しており、令和4(2022)年度末時点で、全65項目の取組のうち、約94%に相当する61項目が目標を達成済み、もしくは目標を達成する見込みとなっている。

評価	取組数
目標達成済み	9
計画最終年度(R6年度)までに目標を達成する見込み	52
計画最終年度(R6年度)までの目標達成に課題あり	4
計画最終年度(R6年度)までの目標達成不可が確定	0
計	65



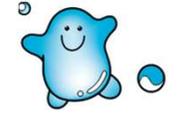
3 次期札幌水道ビジョン (2025~) の検討に当たってのポイント

- 令和4(2022)年10月に策定された「第2次札幌市まちづくり戦略ビジョン(ビジョン編)」における人口推計に基づき、今後の水需要を推計しながら、将来の給水収益や施設整備規模について検討している。
- 人口減少をはじめとする様々な課題や社会経済情勢の変化に対応するため、さらなる業務効率化と利用者の利便性向上を目的としたDXの推進や新技術の導入など、近年重視されている視点を踏まえた事業検討を行っている。
- 地球温暖化による気候変動などが問題となり、持続可能な脱炭素社会の実現に向けた取組が全市的に求められていることから、環境負荷低減の取組についても積極的に検討している。

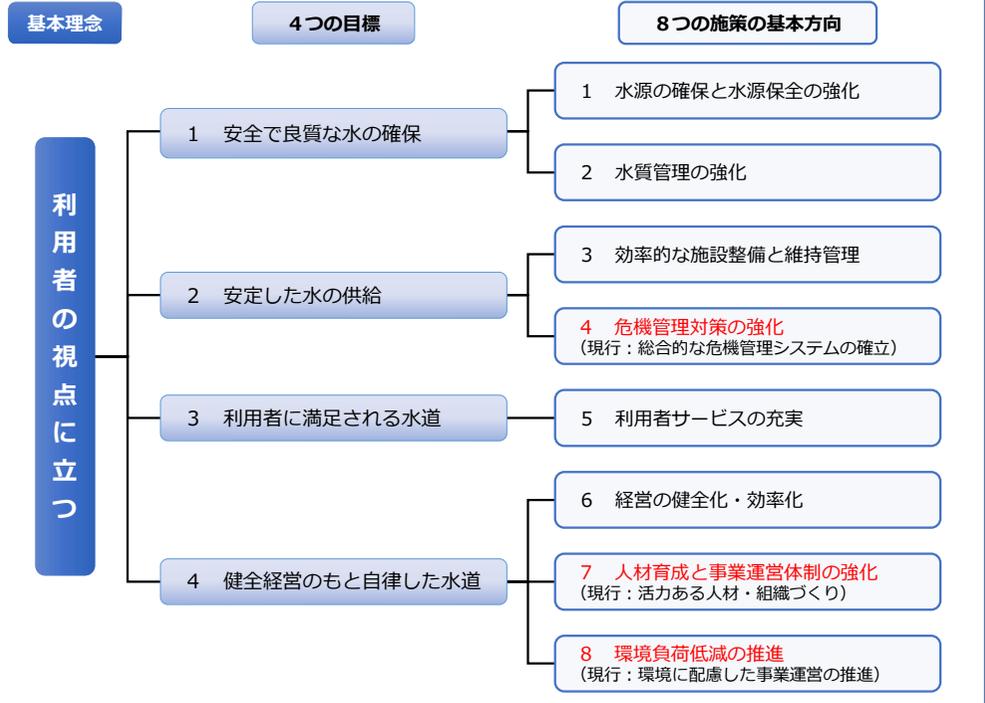
4 次期ビジョンの計画方針

<計画名称>
(仮称) 第2次札幌水道ビジョン

<計画期間>
令和7(2025)年度から令和16(2034)年度までの10年間



<基本理念・目標・施策の基本方向>
 現行ビジョンの基本理念と目標については、今後の事業運営においても極めて重要と考えられることから踏襲することとし、施策の基本方向については、現行ビジョン策定時からの状況の変化を踏まえ、朱書き部分について表現を一部見直すこととする。



5 策定スケジュール (予定)

- 令和5(2023)年度: 計画概要(骨子)を取りまとめ、素案作成に着手する予定。
- 令和6(2024)年度: 素案をまとめ、建設委員会、審議会水道部会にて報告したのち、12月頃にパブリックコメントを実施し、年度内に策定・公表予定。





● 次期札幌水道ビジョンの策定に当たって、市民参加の取組としてアンケートとワークショップを実施しました。

1 目的

次期札幌水道ビジョンの策定に当たって、基本理念である「利用者の視点に立つ」に沿った事業運営を行うために、市民参加の取組としてアンケートとワークショップを実施し、今後の札幌水道に関して市民から幅広く意見を伺った。

2 市民アンケート

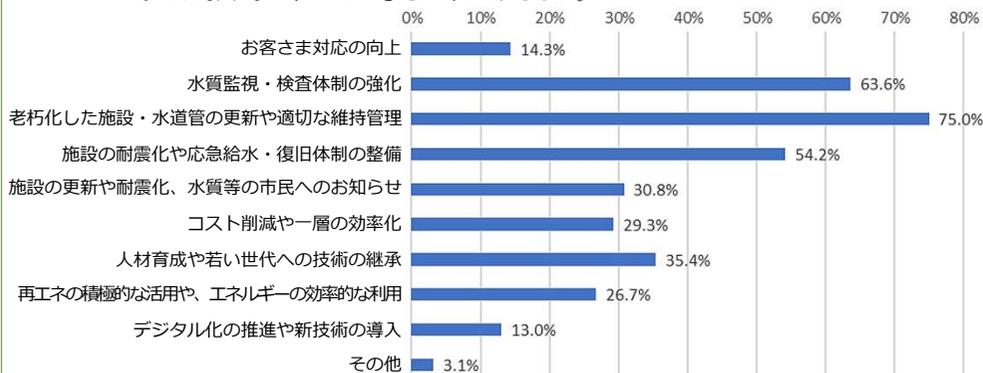
(1) 概要

以下のとおり、2回の市民アンケートを実施した。

	令和4年度指標達成度調査 (アンケート形式)	NEXT水道ビジョンアンケート
概要	本市の各事業に対する市民意識を採取し、事業の効果及び成果を把握するため、総務局改革推進室が例年実施	令和5年10月に開催した市民ワークショップの参加者募集と併せ、市民意見を聴取するため、水道局が独自に実施
実施時期	令和5年2月～3月	令和5年9月
対象者	市内の満18歳以上の男女	市内の水道契約者
発送数	4,000	3,000
回収数(率)	1,046 (26.2%)	289 (9.6%)

(2) 令和4年度指標達成度調査の結果(抜粋)

【設問】あなたが、札幌の水道に関して、今後、一層力を入れるべきだと思う取組は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。



(3) NEXT水道ビジョンアンケートの結果(抜粋)

【設問】あなたが札幌市水道局に求める施策の中で優先順位が高いものは何ですか。この中から3つまで選択してください。



3 ワークショップ

(1) 概要

以下のとおり、学生(中学生)と一般市民向けワークショップを各1回(計2回)実施した。

	学生(中学生)向けワークショップ	一般市民向けワークショップ
日時	令和5年10月1日(日) 13:00~16:30	令和5年10月15日(日) 13:00~16:30
会場	札幌市水道記念館(中央区伏見4丁目)	
募集方法	市立の中等教育学校、高校、特別支援学校に案内の上、参加者を募集	無作為抽出した市内の水道契約者3,000人に案内を送付し、参加者を募集
参加人数	25名(定員30名)	24名(定員30名)
テーマ	みんなで話そう!これからの札幌の水道のこと どうあってほしい?期待することは?そのために必要なことはなんだろう?	
内容	①ビジョンの概要、水道局の取組や課題に関する説明 ②施設見学(札幌市水道記念館、藻岩浄水場) ③きき水体験(水道水とミネラルウォーターの飲み比べイベント) ④グループワーク	

(2) 結果

① 主な意見

<学生(中学生)>

- ごみを減らしたり、油や洗剤をむやみに流さないようにして、川をきれいにすることが必要
- 災害に影響されない水道を作ることが必要
- 水道水がおいしいという意識をもっと広げれば、飲む人が増えるのでは。きき水体験が有効

<一般市民>

- 水道局の取組をもっと広めて、理解を深めてもらうと良い
- ライフラインを絶対に止めないことを優先してほしい
- 人口減により水道代の値上げも必要になってくるのではないかと

② 当日の様子

<学生(中学生)>



施設見学の様子



グループワークの様子



水道局からの説明の様子

<一般市民>



施設見学の様子



グループワークの様子



意見発表の様子